

(2/18 朝日)

東京 新規感染822人

医療警戒レベル「逼迫」

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東京都は17日、医療提供体制の警戒レベルを4段階のうち最も深刻な「体制が逼迫している」（レベル4）に引き上げた。入院患者数などの指標をもとに決める警戒レベルで、医療提供体制がレベル4になるのは初めて。都内では17日、新たに822人の感染が確認され、2日連続で1日あたりの感染者数の過去最多を更新した。

小池百合子知事は17日、増加に歯止めがかからず、臨時の記者会見で「年末年始は感染リスクも高まる」として、「年末年始コロナ特別警報」を出すことを明らかにした。

都は7月から感染状況と医療提供体制を感染者数などの指標をもとに週1回、専門家が評価して警戒レベルを決めている。医療提供体制は7月9日以降、深刻度が上から2番目の「体制強化が必要」を維持し続けていた。ただ、感染者数の

14日には入院患者数が2049人、15日には重症患者数が78人といずれも緊急事態宣言解除後で最多を更新していた。

17日に開かれた都のモニタリング会議で、都医師会の猪口正孝副会長は「コロナの入院患者の増加傾向に伴い、通常医療との両立が困難な状況になつた。新規陽性者数の増加を抑制する対策を強化し、重症患者数の増加を防ぐことが最も重要なことだ」とし、「医療提供体

制は余力の部分はもう全部使った」と指摘した。

また、都は17日、重症用病床（200床）を50床上積みし、中等症等病床（2800床）と合わせて現在の計3千床から計4千床に増やすよう医療機関に要請した。

国内新たに3212人

内感染者は17日午後9時現在で、新たに3212人が確認された。12日の3039人（修正値）を上回り、過去最多を更新。死者は全国で38人。大阪府が12人を占めた。感染者は東京都に加えて、神奈川県（319人）、広島県（138人）、宮城県（54人）でも過去最

多となつた。